

人口の動き

人口	4,074 人
世帯数	955世帯
出生	5 人
死亡	2 人
転入	9 人
転出	11 人
その他	3 人

(9月末住民登録人口から)

ひがし しらかわ 広報

才165号

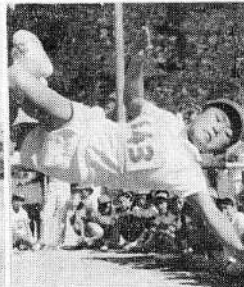
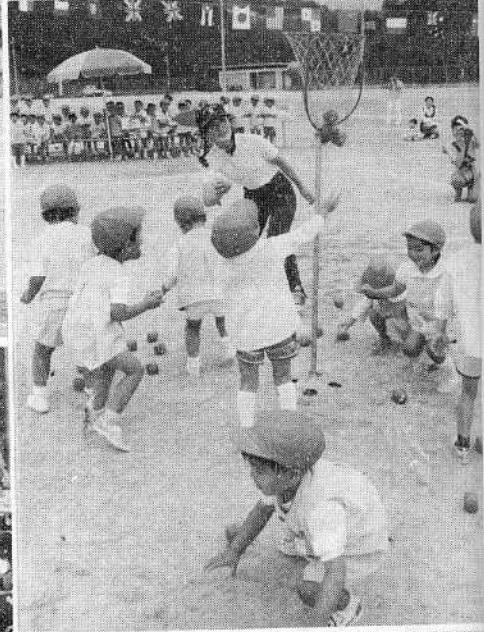
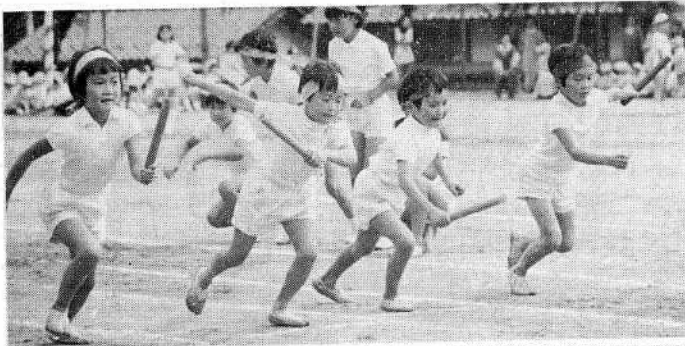
発行

東白川村企画広報課
岐阜県加茂郡東白川村
TEL (東白川) 1 番

印刷

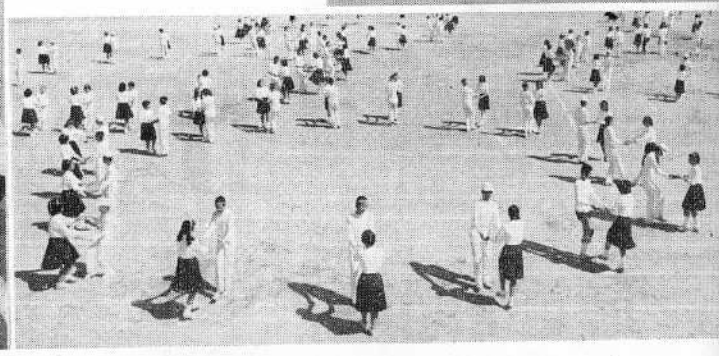
中部印刷株式会社

昭和48年11月5日発行



元気
いっぱい

秋は保育園や小中学校の運動会のシーズンです。健康で楽しく1日を過ごした思い出のスナップを紹介…。



主要地方道—白川加子母線

平バイパス喜びの開通

祝神土バイパ4年の歳月と1億1千万円投じて



待望の主要地方道、白川加子母線、神土平地内のバイパスがこのほど完成、十一月二日、知事や国県関係者ら多数を招いて盛大に開通式が行なわれました。

昭和四十四年にこの事業に着手してから四十年の歳月と一億一千余万円を費して、新道湖から白川ぞいに井抗湖までの千二百メートルが、二車線の舗装道路として誕生したものです。

このバイパスの完成によって、

平地内の交通量は半減し、児童生徒や保育園児の通園、通学の交通事故防止にも役立ち、合わせて防火防災に対する不安が解消されるなど大きな期待が寄せられています。

白川加子母線は、村唯一の幹線道路として昭和三十九年に主要地方道に決まってから、白川、加子母、本村の三町村にわたって本格的な改良工事が始められました。

本村では、昭和四十一年度から大沢地内で着工、すでに延長八百

メートルが完成しています。

その後中心地である神土平地内が住家が密集し、交通量も多いことから、交通緩和と防火防災のためからも、新しく道路を建設してほしいとの要望が高まってきました。

こうした要望に答え、住家密集地である現在の道路の拡幅改良はむずかしいところから、バイパス線の開設が認められ、昭和四十四年用地買収に着手以来やっと完成したものです。

この間、民家六戸をはじめ建物や建築物の移転や撤去、道路用地

については三十名の皆さんから、九千八百平方メートルの土地に対して理解と協力がありません。

村では、このバイパスの完成を機に、白川加子母線全線にわたる改良整備の早期実現を国、県へ強く働きかけることにしています。

また、道路の建設や改良には経費も多く要しますが、地元皆さんの積極的な協力もないと実現しません。

交通安全施設として、バイパスの出入口には照明灯と案内標識が十二月までに建てられます。

今後の計画について、測量調査建物や建築物の移転、用地の買収など理解と協力を望んでいます。

なお、この開通式は、白川町和泉地内と加子母村角領地内のバイパスも合わせて行なわれ、三町村でこの喜びをわかち合いました。

神土下呂線

バイパスに取付け

バイパスの開通に伴い、今までの県道は廃止になるため、神土下呂線の起点が平バイパスまで延長されることになりました。

この連絡道路は、延長約四十メートルで一部神付川を伏せ越して建設されます。

工事は県で行ないますが十月に

着工され、来年三月ごろには完成の予定です。

この工事によって、佐見行きはバイパスから直接進入できるため今後の交通の流れは、いっそうよくなるともに、交通安全の面からも大きな期待が寄せられています。

工事予定箇所は小中学校の通学路になっていますので通行にはご注意ください。

けいはいは

人の動きあれこれ (九月)



誕生おめでとう
ごさいます。

- (加舎尾) 村雲 光好 正樹 三男
- 清子
- (大明神) 安江 広文 成江 二女
- 房子
- (宮代) 安江 初夫 三重子 三女
- みつ子
- (大沢) 藤井 勝美 美鈴 三女
- 甚美
- (陰地) 安江 春好 まゆみ 長女
- 敏子



おくやみ
申しあげます

今井かつ乃 (大沢)
間脇 絢男 (宮代)

■寝たきり老人の方の医療費が無料になります

現在七十歳以上の老人の方は医療費が無料になっていますが本年十月から六十五歳以上の寝たきり老人の方に対しても医療費の無料が実施されることになりました。

この寝たきり老人医療費支給の対象となる方は六十五歳以上

一歩進んだ非行防止対策を

身近にもあつたいくつかの事例

青少年をとりまく社会環境は、青少年の成長に多くの影響を及ぼすものであり、その環境の整備いかんは、青少年の将来を左右する重要な問題といえます。

しかし最近の凶書、雑誌をはじめ、映画、広告物など、ますます誤った性や残虐性を刺激、助長するものがはんらんし、青少年の健全育成上、大きな障害となつていきます。

特にテレビについては、都市でも山村でも、その受ける影響は同じであることに注目しなければならぬようです。

■いくつかの事例も発生

村でも、青少年の非行防止については、一般的な啓蒙や指導を行なってきましたが、最近の情勢を見ると、もはやそのような呼びかけだけでは満足できず、さらに一歩進んだ具体的で、しかも村ぐるみの非行防止対策の必要に迫られる事態となりました。

飲酒、喫煙、乱暴、怠学、盛り場はいか、夜遊び、無免許運転

など、最近この村の青少年にかかわりあいのある非行事例がいくつか発生しています。

これらには、村出身の高校生、中学生、有識青少年がからみあつており、さらに小学生にまでかわりあいがあることが判明しました。

県下全体についてみると、学生生徒による非行は、全体の七〇パーセントを越えており、だんだん低年齢化の傾向が強くなつてい

ます。

また集団による非行はいぜんとして多く、非行を犯した者の三人に一人は、グループによつてい

るといわれています。

家の児にかぎつて……

左



そんな自信が
思わぬ大事を

■連絡組織の強化で非行化防止を
このようなときにおいて、高校生を持つ父兄の間に、お互いの子弟が非行に走らないよう健全に育てるため、相互の連絡組織を作ろうという動きがあり、その成果が期待されています。

この村の場合、ほとんどの高校生は、自宅通学ができ

ないため、下宿などのみだりな親の目の届かないところで生活しています。

しかも数多くの高校に散らばつているため、父兄間の情報交換もままならぬ状態ですが、このような組織ができれば、村の次代を託すべき青少年を健全に育てるために貢献するでしょう。

村としても、このような自主組織ができることは、大いに歓迎し高校生を持つ父兄の全員の参加を望んでいます。

(東白川村青少年育成村民会議)

新委員に中島氏

教育委員の選任

教育委員の任期満了による新しい委員の選任が行なわれました。任期満了となつた委員

越原 今井 定夫
新たに選任された委員
神土 中島 癸一

この選任は、九月二十八日開かれた村議会第三回定例会において同意を得たもので、中島氏は、十月一日からその任に着きました。また、新しい委員長には今井恒満氏、委員長職務代理者には高井好一氏が決まりました。

けいじばん

に当てはまる方です。
一、国民年金法による障害年金
障害福祉年金等を受けて見える方
二、身体障害者手帳の一級から三級までの方及び四級の方で障害部位が音声機能又は言語機能若しくは下肢障害に該当する方
三、厚生年金保険法等により痲疾又は障害の認定を受けている方
以上いずれかに該当する方は役場窓口へ印鑑を持参して医療証交付の手続きをして下さい。

なお年金証書、障害者手帳のない方でそれぞれ該当すると思われる方は、医師の診断により個別に知事が認定することになっていきますので役場民生課へい

ちどご相談のうえその手続きをするようにしてください。
わからない点は、民生課住民係へ問合せください。

■秋の火災予防運動が始まりました。
十一月二十六日から十二月二日まで、「隣にも声かけあつてよい防火」の統一標語で、全国いっせいに秋の火災予防運動が繰り広げられます。
いまいちど、火災について家族で話し合ひましょう。

第2期山振地域に内定

山村開発センターも実現

住みよい村めざし振興施策を拡大

にして約六億二千万円の投資を行ない施策をすすめてきました。

その結果、地域の辺地性解消のための交通通信施設の整備、特性を生かした農業生産基盤の整備および産業経営近代化施設の整備などを重点として、住民所得と生活水準の向上に大きな成果をあげてきました。

しかし、急速に進展する経済成長の中で、農山村人口の高齢化に伴う労働力の質的低下、米生産調整や農産物価格の不安定など、農林業経営のきびしさは当初の計画をはるかに上回ってきているのです。

そこで、ふたたび長期的な見通しにたった土地利用の高度化、農林業の振興、社会環境の整備など抜根的な対策が必要となってきました。

そうしたことから、村では恵まれた自然環境の中で、国土の保全水資源のかん養、自然愛護など社会的な要請からも、自然に調和した農林業振興の必要性を考えたより高度な生活基盤の整備をはかるために、山村振興計画をさらに拡充し、変更するための山村第二期対策地域の指定を強く働きかけてきました。

昭和四十三年、山村振興法に基づき振興山村の指定を受けた本村では、その振興計画によって昭和四十四年度から四年間、総事業費

し、振興計画の検討が終わりしだい決定し、実施へのスタートをすることになります。

この指定を受けると、計画内の事業に対し、高率の補助や、有利な借り入れもできるとともに、国や県の施策も優先的に実施されることになり、村単独ではできないような大きな事業も可能となります。

まだ決定とはなっていないが今後四年間の総事業費には約十五億円を見込み、年次計画によってつぎのような振興施策を実施する

ことになっています。

【交通】

地域と幹線道路(主要地方道)の連携の強化、村道、神土角領線の整備。

【産業の生産基盤】

林道網の整備、茶園、桑園の造成と改良、農道、圃場の整備

【産業の経営近代化】

産業教育、生産技術指導、生活改善などの推進のための山村開発センター建設、緑茶加工施設などの整備。

【文教】

小学校の統合と校舎の建設、

スクールバスの配備、総合運動場の拡充整備、ちびっ子広場の整備。

【社会生活環境】

老人いこいの家設置、簡易水道や飲料水供給施設の整備、ごみ収集車や患者輸送車の配備。

【国土保全】

治山施設や砂防施設の整備。

【観光】

白川流域の健全なレクリエーションの場としての整備、総合運動場周辺の公園化、林間学校やセミナーハウスなど宿泊施設の誘致。



↑ 茶園や桑園は集団化され生産量は倍加しています。



↑ 特産の白川茶生産も振興施策により軌道にのりました。

村では、第2期山振の基礎資料と計画樹立のための参考にするために、このほど抽出による住民意向調査を行いました。

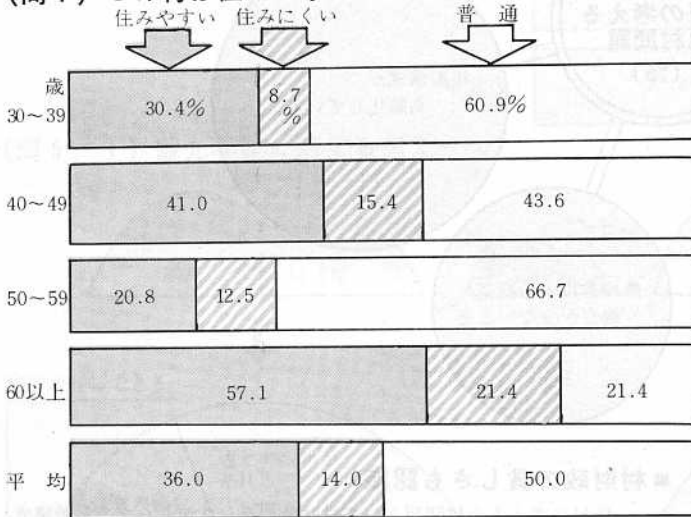
この調査は世帯主を対象としたものと、30歳以下の青年を対象とした二種類で、今後の施策に反映させなければならない分野の意向を知ろうとしたものです。

世帯調査は100名を対象に、青年調査は50名を対象として行ないました。が、今月はこの結果を特集しました。

これによって現在の村を考え、将来をどうすすめていったらよいか、あるいはいままでの実績をどう評価し、さらにどう手なおしをしていったらよいかを、今いちど村ぐるみで考えてみたいものです。

観光南発 より 工場誘致

(問1) この村は住みやすいか



住民意向調査 世帯用まとめ

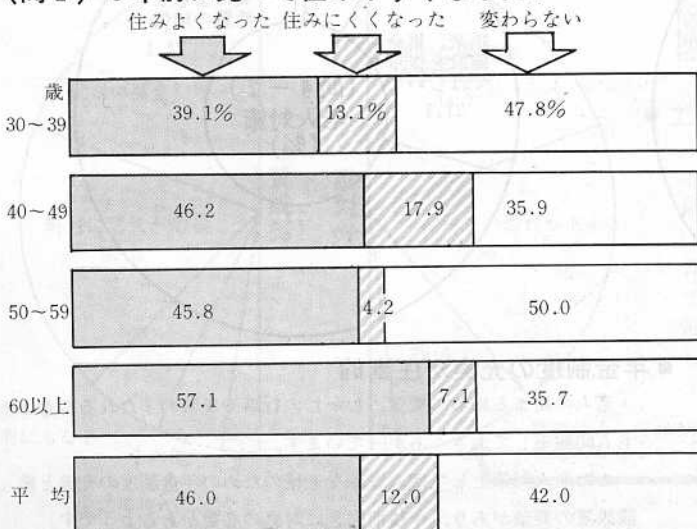


■ 安定している山村の生活

住みやすいと普通が86%を占め、住みにくと答えた人はわずか14%で村の生活は比較的安定しているようです。

5年前との比較でも、住みよくなったという回答が46%あり、山村振興対策の成果がしだいに表れていることがうかがえます。

(問2) 5年前に比べて住みやすくなったか

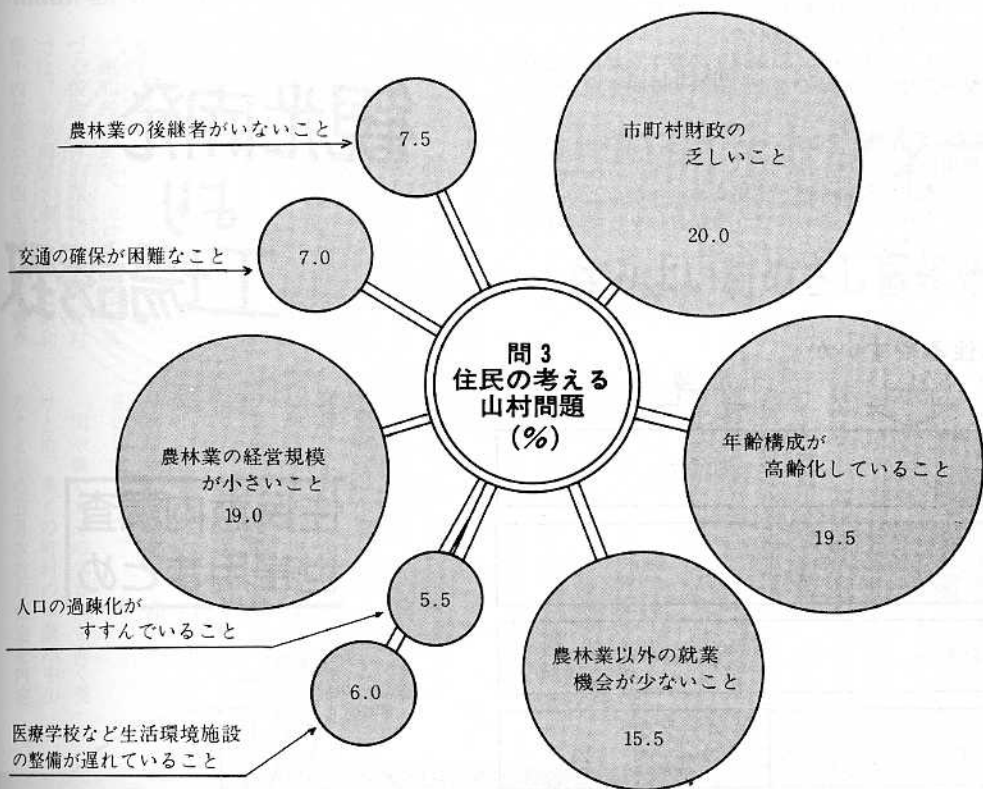


住みやすくなった理由

- 道路や橋がよくなった 34.7%
- 有線放送ができた 30.6%
- 田畑や林道が整備された 9.2%
- 洪水やがけくずれが少なくなった 7.1%
- 学校や運動施設が整った 6.1%
- 医療施設がよくなった 5.1%
- 工場など働く機会が増えた 4.1%
- 集会施設が増えた 2.1%
- その他 1.0%

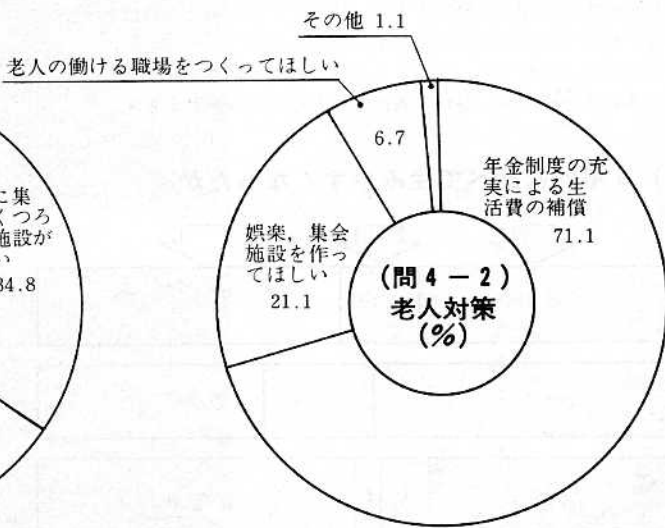
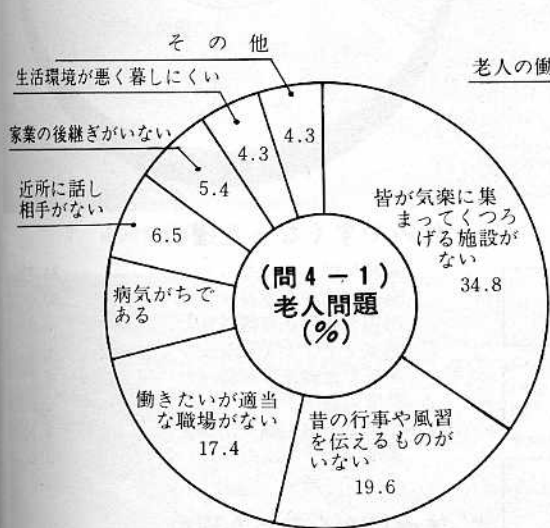
住みにくくなった理由

- バス、鉄道などの運行が減った 40.8%
- 田畑、山林などが荒れてきた 22.2%
- むかしの行事や風習がすたれた 18.5%
- 学校が遠くなり不便になった 3.7%
- 人が減り社会活動がしにくい 3.7%
- その他 11.1%



■ 村財政の貧しさも認識

住民の考える山村問題として村財政の乏しさがトップで年齢構成の老齢化、農林業経営の規模が小さいなど、村の総合的な問題が多く、今後の施策によって解決しなければならないものばかりといえます。



■ 年金制度の充実が圧力的

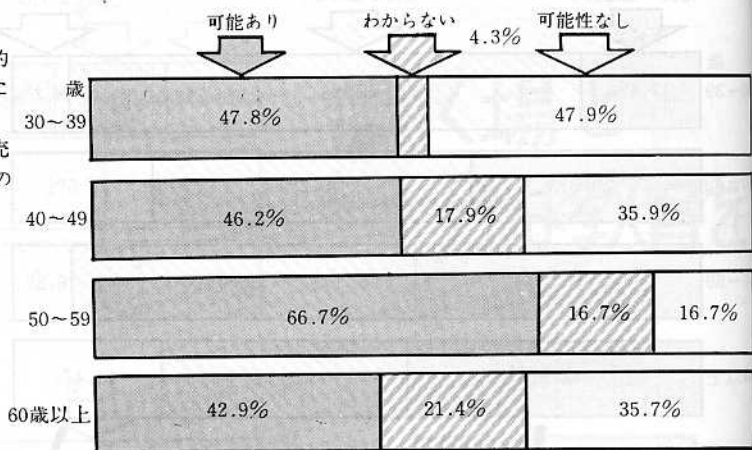
老人の集まる施設の要望、むかしの行事や風習のすたれることが老人問題として大きくあがっています。

また老人対策としては、豊かな老後のための年金制度の充実と施設設置の要望があり、今後前向きに対処の必要があるようです。

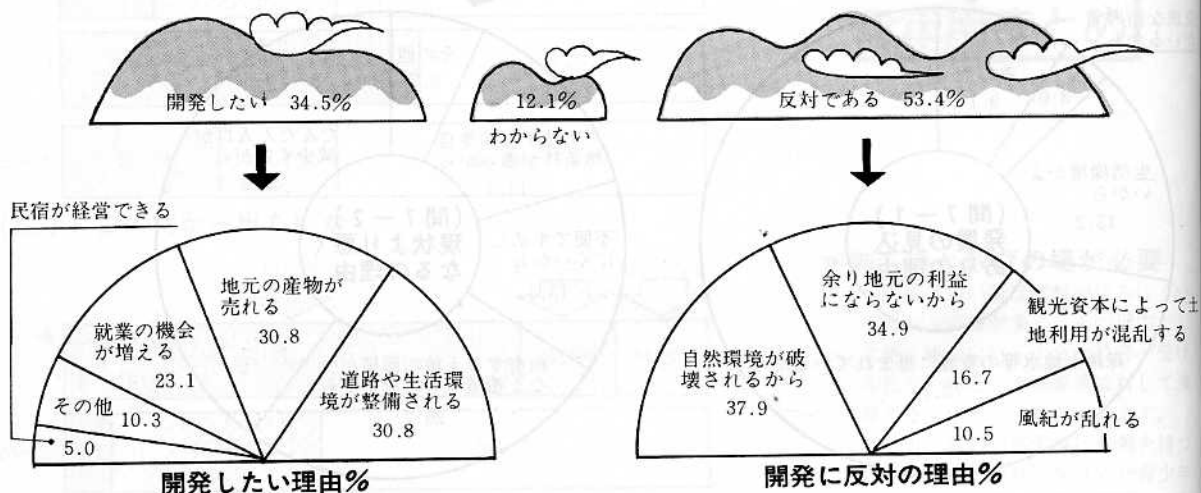
(問5) 観光開発の可能性

■ 観光開発には比判的

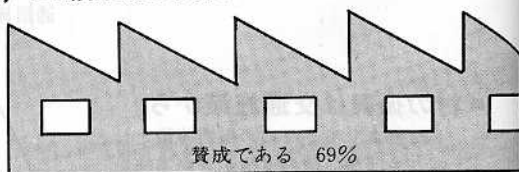
観光開発には賛成35%、反対53%と比判的といえ、その理由として自然破壊や乱開発による土地利用の混乱を心配しています。一方、道路や生活環境の整備、産物の販売など少数ではあるが期待のあることも今後の研究課題といえましょう。



(問5-1) 観光開発に対する考え

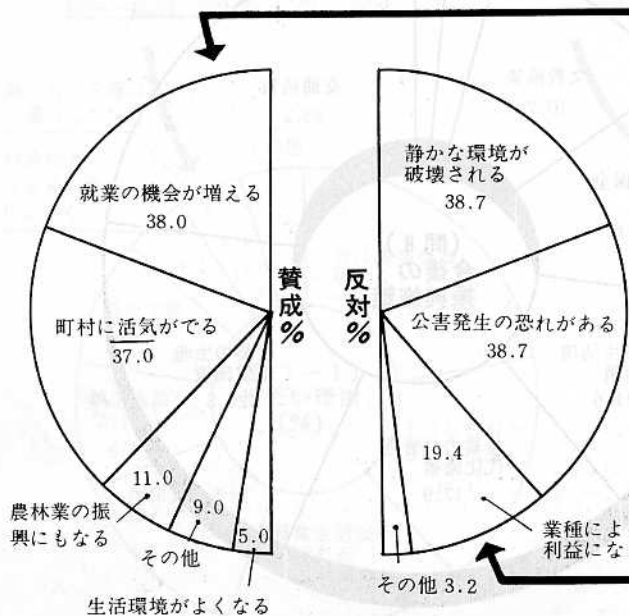


(問6) 工場誘致の賛否

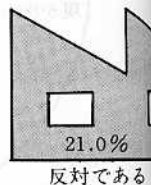


■ 工場誘致には期待

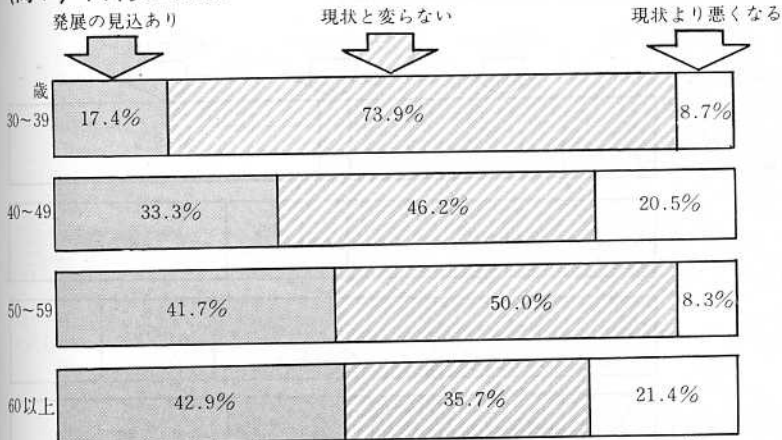
工場誘致に対しては賛成が69%と多く、山村の就業機会の増大と活気性を望んでいるようです。反対の理由として、自然破壊や公害発生を恐れることがあげられていますが、これらを考慮した適正企業の誘致は積極的にすすめてもよい時期がきているといえるようです。



10%
わからない



（問7）山村の将来



■ 自然環境を生かした発展を

村の将来性については、土地や水資源など自然に恵まれていることから、それを維持しながらの発展を期待する答が多く、特に年齢が高くなるにつれてそうした答の多いことに注目する必要があります。

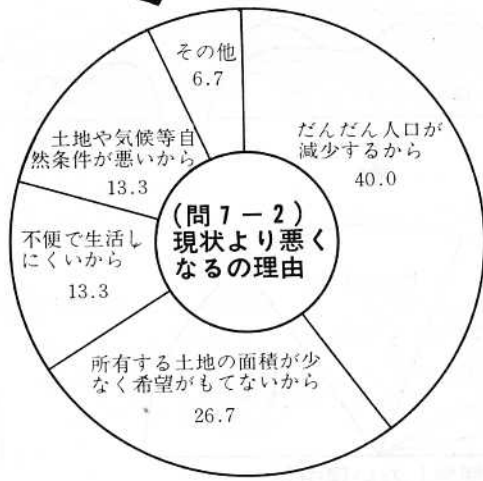
今後のいくつかの発展施策も、こうした環境の良さを壊さないもので内容を検討しなければならないでしょう。

立派な指導者がいるから



（問7-1）
発展の見込みありの理由

だんだん人口が減少するから

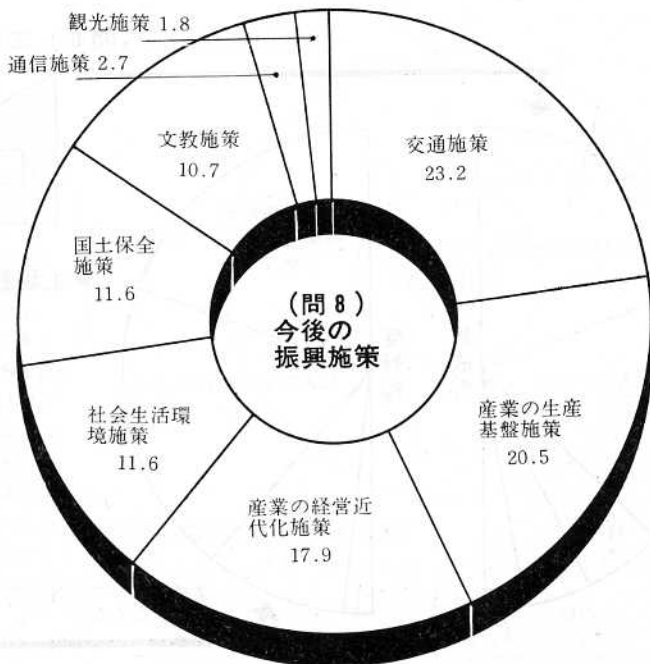


（問7-2）
現状より悪くなるの理由

■ 村の振興は交通施策から

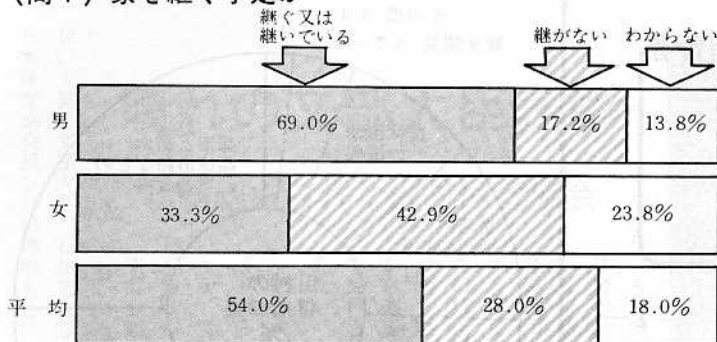
村をよくするための振興施策として、やはり地域の実情から交通施策が多くついて生産基盤の整備や経営近代化施策があげられています。

これらのことは、いままで押し進めてきた農業構造改善や山村振興事業、これからスタートしようとしている2期山村振興事業をはじめとするいろいろな事業の中にも盛り込まれ、みんなが考えた振興施策への実現が図られていきます。

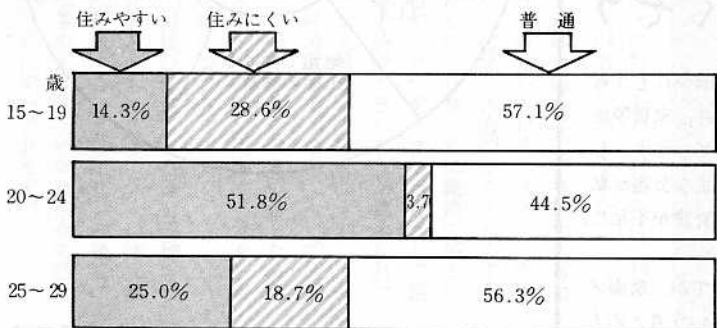


（問8）
今後の振興施策

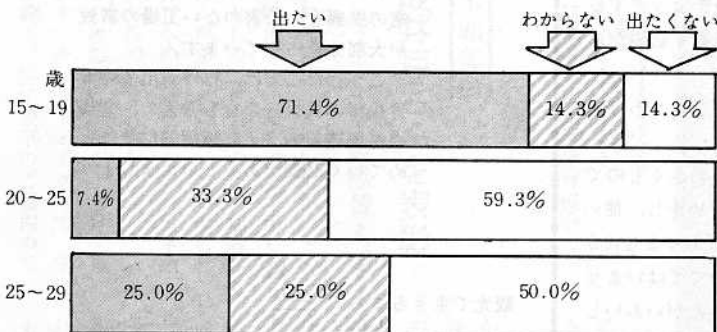
(問1) 家を継ぐ予定か



(問2) この村は住みやすいか



(問3) この村から出たいか



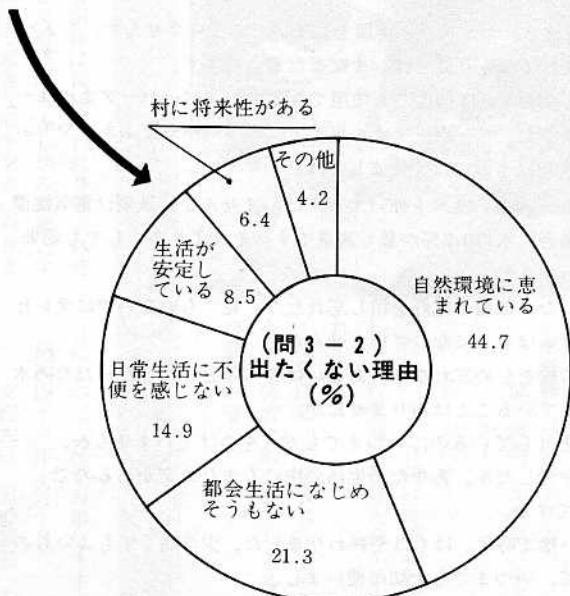
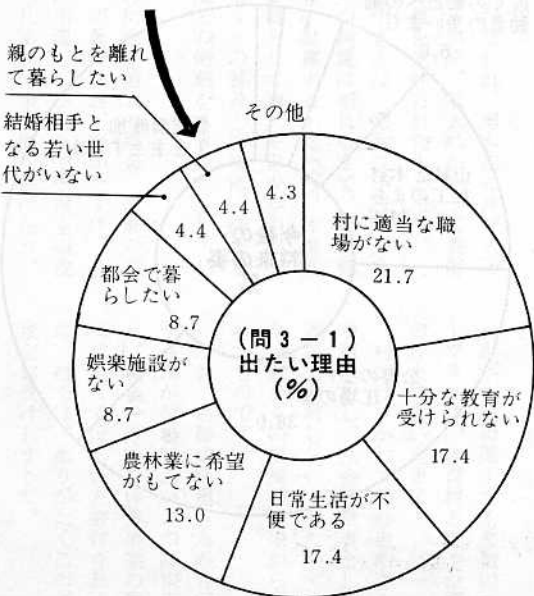
働く場と 十分な教育を

住民意向調査 青年用まとめ

■働く場と教育の場が必要

青年は若い層ほど村が住みにくい、出たいとの答が多く、その理由として働く場がない、十分な教育が受けられないなど、その意欲に対して満足できない村の環境といえます。

一方、村の自然環境に愛着を持つ青年も多く、それらを含めた青少年対策として、就業の場の確保、教育施設など考慮する必要があります。



かしこい消費者



— 2 —

暮らしの中のムダをなくそう

戦後経済の高度成長によって、私たちの暮らしは外国からもうらやまれるほど豊かになりました。豊富な食品、電気製品、家具等生活用品は店頭にあふれ、私たちの消費生活をうるおしています。しかし一歩目を外にひろげると、PCB、水銀等さまざまな公害が私たちの生活をおびやかす、使いすぎのあまり世界では資源が不足し、又飢えに苦しむ国々の多いことに気づくでしょう。

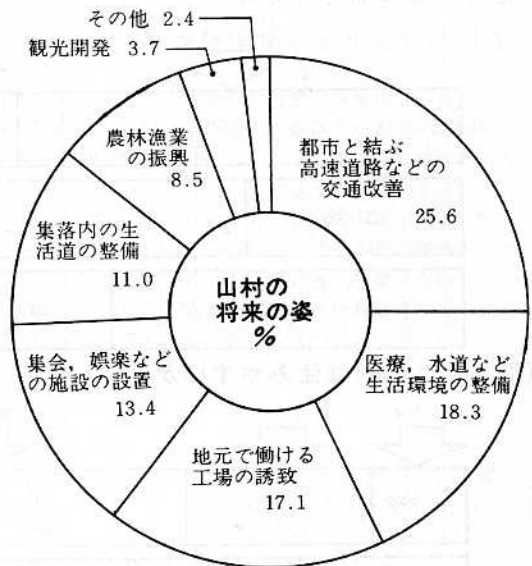
私たちの生活が豊かになったことは喜ぶべきことですが、反面メーカーのキャッチフレーズにあおられ、消費は美德という考えのもとに一部で使い捨て文化がつくりあげられたことはいなめません。

日常生活の中でムダが行なわれていないかどうかをチェックするとともに、「ほんとうに豊かな社会とは何か。を考え直す必要があるのではないのでしょうか。

日常生活の中で、つい見のがしてしまいそうなムダをとりあげてみました。

- 食料品の中でみそ、しょう油、食用油等は割合保存のきくものですが、たくさん買えば安くなるからといって買いだめをし、使いきるまでに品質が悪くなってかえって損したことはありませんか。
- 大根やかぶの葉はビタミンが豊富にあります。捨ててはいませんか。ゆでてからいためたり、かきあげにするとあんがいおいしいものです。
- 「流行おくれたから」と洋服をしまいこんでいませんか。ちょっと工夫して作り直せば、まだまだ着られます。
- ふきんなら洗えば何度でも使用できますが、ペーパータオルは一度きりです。ペーパータオルやティシュペーパーをふきんや手ふきの代用にするのはやめましょう。
- せんたくのさい洗剤を使いすぎではありませんか。洗剤は電気洗濯機の場合、水の0.2%が最も適量です。それより多くしても効果は変わりません。
- 誰もいない部屋の電灯を消し忘れて、見てもいないのにテレビがつけばなしになっていませんか。
- 水道の栓をしめ忘れて、あるいはきちんとしめなかったため水がもれていることはありませんか。
- ふっとしているのにいつまでもガスをつけていませんか。いかがでしたか。あなたの生活の中にもまだムダがあるのではないですか。

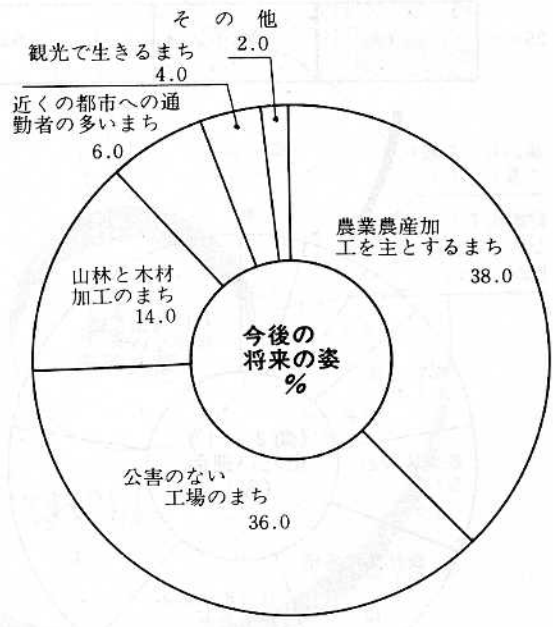
「使い捨て時代。はもはや終わりました。少々高くてもよいものを買って、いつまでも大切に使いましょう。



■農林業と公害のない工場の振興を

青年の求めている村の姿は、農林業の振興と、公害のない工場の誘致が大部分を占めています。

こうしたことは、村外へ出ている青少年のUターンをも考えて、今後の振興施策のうに積極的に受けとめていく必要があるといえましょう。



家族や地域の応援も

大盛況の村民ソフト大会

十月十四日、東白川総合運動場と神土小学校々庭で、第五回村民親睦ソフトボール大会が盛大に開催されました。

ことしも各地区から昨年より四チーム多い二十三チーム、三百五十余名の選手が参加し、総合運動場で三コート、神土小校庭で一コ

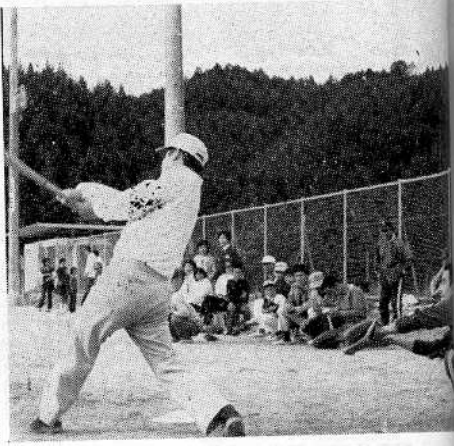
ートを使用、四つのゾーンに分けて熱戦を繰り広げました。

激戦、混戦の中で決勝戦はナイターとなり、平下、大口Cチームが初優勝を飾って大会の幕を閉じました。

前日の雨で運動場のコンディションが悪く試合開始がやむ遅れた

運びと、好ファイトによって全日程を終わった大会は、親睦と体力増進の目的達成に大きな成果をあげたといえましょう。

家族ぐるみ、地域ぐるみの応援風景も見られ、ソフトボールを楽しまる人がますますふえるとともに、ルールも普及し、チームの実力の平均化につながり、今後の大会に



成績は次のとおりです。

優勝 平下、大口Cチーム
準優勝 平中Bチーム
三位 西洞、加舎尾、中谷Aチーム
四位 大沢チーム

なお、十二月には冬季の行事として、村民親睦卓球大会が予定されています。

細部は追って発表されますが、今から練習を始めひとりでも多くの参加を望んでいます。

スポーツ

晴れの文部大臣表彰

功績認められた本村体育協会

おいて奥野文部大臣、石井光次郎日本体育協会長らの出席のもとに

本村の体育協会が社会体育優良団体としてこのほど文部大臣から表彰を受けました。

表彰式は、十月九日、東京麹町の東条会館ホールに

盛大に行なわれ、村からは、村長以下四名が列席しました。

村体育協会は、昭和三十一年七月に設立して以来、スポーツを通じて村民の体力づくりに尽くすとともに「心身ともに健康で明るい村づくり」を大きな目標として活躍を続けてきたことが認められたといえます。

村民総スポーツ化、そしてスポーツの生活化をねらいとした各種スポーツの普及活動は、着々と実を結びつつあります。

村民の総意による総合運動場の完成とともにスポーツ人口は大幅に増加することとなり、今後更に効果をあげるため体育協会の活動がさらに期待されます。

スポーツ

表彰状

岐阜県東白川村体育協会

日本顕彰会

故井戸さんを表彰

スポーツ貢献賞

本村の家庭婦人バレーボールの育成に大きな功績を残し、惜しくもことしの二月病氣のため他界された井戸忠治さんが、このほど社会体育への貢献を讃えられ日本顕彰会から表彰されました。

この表彰式は十月二十六日、東京のホテルニューオータニで、常陸宮殿下、同妃殿下のご臨席のな

貴団体は長年にわたり社会体育の普及振興に尽力し他の模範とするに足る顕著な成果をあげられま

したよつてこれを表彰します。

昭和四十八年十月十日
文部大臣 奥野誠亮 印

スポーツ

かで行なわれ、奥さんの井戸久子さんが出席、故人にかわって表彰の榮譽を受けられたものです。

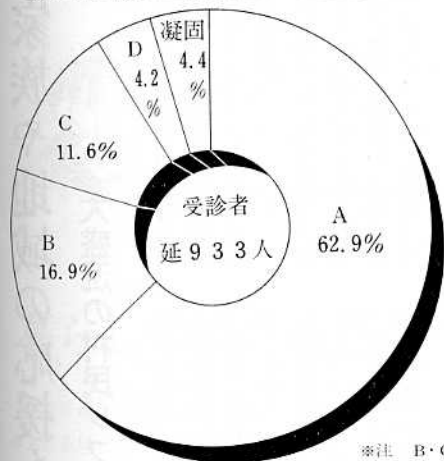
忠治さんは、昭和三十五年から昨年の病魔に倒れるまで、村の郵便局に勤務するかたわら、体育推進委員として婦人や青少年のバレーボールの普及と指導に、痛ましいほどの情熱をささげられました。

特に家庭婦人の場合、家族の説得、部員の送迎、後かたづけ、それに指導と、ひとりでは三役も四役もの仕事を十余年間に続けられ、それが本村の県下でも有数のスポーツクラブ、体育村となった要因のひとつといえます。

村では、かねてから忠治さんの功績に対し、社会貢献者としての表彰を申請していましたが、今回全国数多くの候補者の中から選ばれたものです。

なお、表彰式後奥さんの井戸久子さんが役場へあいさつに来庁され、現金一万円を体育事業の振興に役立ててほしいと寄付されました。村では、ありがたくのご厚意をお受けしました。

成人病検診血液検査の結果



A	異常なし
B	要注意
C	要精検
D	要治療
凝固	検査不能(凝固)

※注 B・C・Dは重複しています。

貧血は食生活改善で 血液検査の結果まとまる

この八月に村内いっせに行なった成人病検診の、血液検査の結果がまとまりました。

血液検査は、貧血を主として白血球、赤血球、血色素量、ヘマクリット、平均赤血球容積、平均血球血色素量、平均血球血色素濃度

の七項目について検査したものです。

その結果、正常値をはずれている人たちに対し、食生活の改善、または治療などによって多くの人が貧血を脱し、正常値に近づけるようにするための指導を行ないます。

判定の基準は次のように行ないます。

A—今のところ異常ありません。

B—要注意貧血傾向です。食事に注意しましょう。

C—要精検貧血の原因を確かめるため医師の診察を受け

今月は、成人病予防のための冬の生活あれこれです。

いつもより暑かった夏も終わり目先を楽しませてくれた秋ももうわずか、これからきびしい冬がやってきます。

その冬を、からだの調子を狂わせないで健康で過ごすためにはどうしたらよいでしょうか。

まず、急な温度の変化を防ぐことです。

冬の入浴時、浴そうの中は熱いが、洗い場、脱衣室は寒々としてるといったことはよくあります。

入浴する前に、風呂のふたをとって洗い場、脱衣室を暖かくしてください。

D—要治療

治療が必要です。

貧血を防ぐには、まず貧血の原因となっている病気があれば治し食事によるものであれば過労をさけるとともに、食生活を改善する事が必要と思われれます。

食生活の改善には、偏食をさけバランスのとれた食事をとるよう心がけ、そのうえで血液を作る食品を選ぶことがたいせつです。どんなものをとれくらいといったらいいかという点、通常を考え、食事によってより貧血から遠く

入るなど工夫しましょう。

また、夜のトイレは戸外にある場合にはしびんを用意し、暖かくなったからだをこがらしにさらさないよう気をつけます。



—冬を健康に—

将来、家を新築、改築されるようなときは、室内便所と暖かい脱衣室の工夫を忘れないこともたいせつ。

よう心がけていきましょう。なお後日、栄養改善推進員の協力を得て部落での栄養教室を開催

特に、日本式の家は寒さに弱くできています。

こたつや火鉢などからだの一部を暖めるのみでなく、部屋にカーテンをつけたり、ストーブとこたつ、火鉢を併用し、部屋全体を暖かくすることが必要です。

そして、暖かい部屋では一枚薄着にし、戸外にでるときは重ね着をして、からだの調子をくずさないようにします。

こうしたことと同時に、常日この規則正しい生活と、十分な栄養とで寒さに耐える体力をたくわえかぜをひかないよう、自分の健康管理をしておきましょう。

する予定ですので、要注意、要精検のかたはもちろん健康なかたもぜひこの機会に参加してください

文化講演会のお知らせ

第4回を迎えた文化講演会をことしも次のように開きますので多数おいでください。

日時 11月18日(日) 12時30分から

場所 東白川体育館

講師と演題

上野動物園元園長 古賀忠道氏

「動物の世界と人間」

岐阜県知事 平野三郎氏

「岐阜県政について」

主催 村内各種団体

後援 東白川村

東白川村教育委員会

東白川村公民館運営審議会



■上親田の神明神社

祭神―天照皇太神、豊宇氣毘売神
合祀―お鍛様（現在の神土、上、
下親田組内の氏神総社）

寛永二年四月（西歴一六二五年）
今から三百四十八年前に建立され
た。

外では、郡上踊りが始まり、幕
府は三代將軍家光の治世、山田長
政がシャム国で毒殺されたところ
である。

延命や子孫繁盛祈願として、願
主久六、七歳ほか一名によって祭
られた小さな社であったと思われ

多い有線の破損事故

ケーブル近くが発砲

近年心ないハンターの発砲によ
って、有線ケーブルの破損事故が
多く発生しています。

ケーブルには何十本もの細い線
がビニールの皮膜によって保護さ
れていますが、その中へ散弾が入
って混信や通話不能、放送不能な

その後、寛永十二年、長瀬の現
丸登製材所東、通称や次郎岩三角
点の上に、洪水の折打ち上げられ
た丸い石を、安江竹雄氏の先祖が
井戸神として祭ったところ、夢枕
に神が現れ「神明の神じゃ、高い
所に祭れ」とのお告げがあり、以
来神明神社のご神体として鎮座さ
れた。

寛保二年、吉宗將軍のころ苗木
藩から御鑑、御興一基を賜り合祀
された。

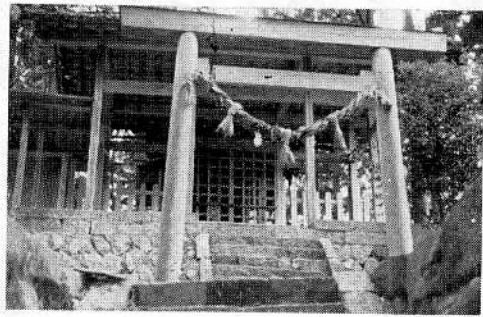
神仏混同の時代もあり、神明宮
と変わったり、おぼんな様と呼ば
れたり幾多の変遷をみながら、明
治四年、苗木県令から神社一カ所
合祭せよとの布告がでて、神土各
社、神付金森神社、中通八幡神社
大口大岩神社、中谷中峰神社、西
洞白髪神社など五社は神田神社に

どの原因となっているのです。

特にこうした事故の多くは、何
カ月も後になって雨水がしみこん
でからの障害となつて、早期発見
はもちろん、位置の確認に手間ど
り、多くの加入者のかたがために
いわくをかけているのが現状です

また故障箇所が発見できても、
ケーブルは部分的な補修ができず
接点から接点まで全部新品と取り
替えねばならず、多くの費用と手
間を要します。

神土東組は、合祀しないよう必
死になって「乍恐以書附奉願候事」
の嘆願書を名主へ差し出した。



内容は、「私たちの住んでいる
所は高い所であり、早ばつとき
神秘あらたかに雨を降らせてくだ

ことしに入つて発見できたのは
二件で費用は約十万円もかかって
います。

特に事故がめだつのは、民家の
近くの樹木や、竹藪、雑木の藪な
どの付近で、小鳥をねらつた発砲
のようです。

有線は私たちの日常生活に欠か
すことのできない通信網ですの
たいせつにしてください。
ケーブルの近くでは絶対発砲し
ないことと、事故防止のためのお

れないときは神田神社に参詣でき
ない」という意味のもので、明治
四年村雲市右エ門、大坪又六、安
江愛六、安江伊六、早瀬才十、村
雲介七、早瀬清七の七名が代表し
て差し出している。

例祭は古くから八月十六日であ
つたが、悪疫流行の時期であるこ
とを恐れ明治三十四年からは四月
十六日に変更された。

昭和四十五年からは小中学校の
学業の関係もあり、休日の四月三
日に盛大に例祭が行なわれてきて
いる。

お鍛様の例祭は七月七日、通称
虫干し祭として行なわれるが、近
郷の豊作の神としてあがめられ、

大正の初めのころまで、長雨、干
ばつにつど、お鍛様の馬みこしは
親田の若い衆にかつぎあけられ、

互いの監視が必要です。

付近でそうしたことをみかけら

そうきん三百枚

老人クラブから贈物

学校や保育園の美化に役立てて
ほしいと、そうきん三百十枚を寄
付された老人クラブがあります。

このほど役場民生課へ、神土の
老人クラブ明青会（会長服田勲さ

うである。

現在、当時の雨乞い唄、日和乞
唄は、今はなき古老が一巻のテー
プに残してくれたのが唯一の名残
りであり、当時をしのぶものにな
くなったのは、さびしいかぎり
である。雨降ればたのみ、風吹け
ば祈り三百四十有余年、ただただ
おがみまいらせ、たのみまいら
せ。郷土民衆の心のよりどころと
したその極みにこそ、神々のあり
かが存在している。

神社の老杉は落雷に梢なく、無
惨な悲しみを越えてなお生き続け
ようとし、あたかも先祖の労苦を
声なく物語っている。

（文責大坪信也）

〔註〕「白寿四号」神明神社の由
来（田口森松さん記）を参考にし
ました。

れたら早めに本部まで連絡くださ
い。

ん。）から、お年寄りたちが余暇
を利用して作ったそうきんを、学
校や保育園で使ってほしいと届け
られました。

古着などを利用した手作りのじ
ょうぶなものばかりで、さつそく
係ではご厚意をお受けし、小中学
校と保育園へ配布をさせていただきました。

ふるさとへの便り



ちよつぴり不安村の生活

離れてわかる村の良さ悪さ

村を出て二度目の夏休みを過ごした一高校生です。

下宿しながらの学校生活で、時にはさびしくてふとんをぬらしたり、だれかに手紙を書いてみたくなったり……。

ついこの間、村や親元を離れて生活することに不安や、ちよつとした好奇心を抱いていたように思ったのに早いものです。

いつも広報を送っていただき村のことを思いだしていますが、自分のふるさとを離れてみてはじめてそのものの良さや、悪い所がわかります。

私は高校生活を終えたら村へ帰り、両親たちといっしょに暮らすつもりで、早くその日がくるのを楽しみにしています。

けれどそのことに不安とか、心配がまったくないわけではありません。今まで中学時代、小学時代をずっとここで過ごし、高校へ入るためにはじめて村を離れてみると、それまでなんでもなかった村

の生活が不便でならないのです。

一年目はまだ「村へ帰りたい」の一心でしたが、慣れてくると私は卒業して村へ帰りその生活に満足し、暮らしていけるだろうとかこちらで就職したいと思ったりするのです。

今まで「井の中の蛙」のように刺激のある便利な生活を知りませんでした。

もし中学を卒業し、村内に残り都会での便利な生活に慣れてしまふと、村の生活がなんとなく物たらしく感じられます。

私は、今まで私が育ち、見守り続けてくれた村を捨て、両親も捨てて都会へ出ていくつもりはありません。

私たちが若い者が帰ってこなくて村はさびれていく一方です。

私がいって、何ができるといふことはありませんが、やはり若い人がいれば村も活気がでてくるのではないのでしょうか。

今の私はとても不安定で、村へは帰ってきたい、でもその生活が物足らなく感じるというのです。

こんなこと思うのは私ひとりでしょうか。私と同級生の人、また二三年先輩の人たちはどう思っているのでしょうか。

自分たちが育ったふるさとですから、なんの未練もなく出ていく人もないと思います。

かといって都会で何年も暮らして、今までの生活から何の抵抗も

なく帰ってくる人も少ないのではないかと思うのです。

今の私の気持ちをうまくまとめることはできませんでしたが、少しでもわかってもらえたら、ともうれしく思います。

いろいろ悩んだり、迷ったりできるのも青春の特権のひとつだと思います。

—村外へ出ている 一女高生

私の提案

全快祝いの廃止を

余分なお金は公共施設へ

最近、病气やけがなどでお見舞をする、全快の後全快祝いだとしていろいろな品物を配られることが多くなりました。

病气やけがの場合、当村の病院

はじめ岐阜、多治見、下呂などを

さまざまなところへ入院され、お金を使った後、こんなことをすると容易なことではないと思います。

また、お見舞する方でも少しばかりではできません。

こういうことは廃止したらいいかなものではないでしょうか。

困も豊かになり、日常生活も派手になったものの、余分なお金があったら学校、神社、公共施設などへ寄付したほうがよいと思います。いかがなものでしょうか。

(一村民)



お知らせ

有放電話の新設と変更

部 落	加入者名	番号
柏 本	森泰織維鳳白川工場 (責任者村雲茂)	3768
平	白川屋フトン店平下店	2477
平	東白川総合運動場	2090 (事務所内) 2427 (野 外 用)
上親田	木村建設事務所	3215
黒 淵	越 原 商 事	3618
栃 山	森川タイ尔栃山工場	3528
(テレホン移動)		
平	島倉幹夫	2585 2456



■今月は、住民意向調査の結果をまとめましたが、住みよい村づくりを進めるためには、さらに皆さんの意見が必要ですよ。

■建設的な意見や、要望を係までお寄せください。広報で紹介し共に考えたいと思います。